

# 岩日タイムズ

発行者  
岩瀬日本大学  
高等学校  
ソーシャルメディア部  
海老澤麻佑

# 音楽の力で心繋がる



4月16日、音楽プロデューサーの亀田誠治さん(56)のオンライン取材会が行われた。亀田さんは、早稲田大学卒業後、1989年から活動を開始、現在は音楽プロ

デューサー、編曲家、作曲家として、椎名林檎、スピッツ、いきものがかりなど、数多くのアーティストのプロデューサーやアレンジを手掛ける。また、ユニット「東京事変」のメンバー

でもある。

取材の中で亀田さんは「幸せを感じるのは、アーティストと良い曲が出来たと感じた時、アーティストの気持ちを受け止めて貢献できたと感じた時、聞いている人が幸せを感じた時だ」と語り、亀田さんの仕事への情熱と温かい人柄が感じられた場面だった。

## 日比谷音楽祭当日の演奏

「心響く曲は？」という質問に対しては、「時代を超えて愛されるメロディー、歌詞のある普遍的な曲」と答えてくれた。亀田さんは自身の仕事において、自分がかっこいい、面白いと思うことだけをしており、自分の考えで動くなど、より良い曲を作るための工夫をしている。自分の考えで動き、常

に誠実であることが人生において大切なことではないかと語った。亀田さんは、音楽プロデューサーとしてより多くの人に音楽の魅力を感じてもらえるように活動していると感じた。



## 亀田さんのインタビューの様子

「こんな時こそ、音楽で元気と希望を持ってもらいたい。一人でも多くの人に音楽を伝えたい」  
しかしながら、オンラインには全体で音楽を感じることができないという欠点がある。それは逆に、日本全国に音楽を届けることができた。最新の映像技術を使うことができるという利点もある。それらの利点を活かして新しい形の日比谷音楽祭にしていこうという強い思いが伝わってきた。配信は11時から20時まで行われ、2日間で延べ視聴者数15万人、総再生回数51万7000回となり、全国から多くの人が参加した。配信会場となった日比谷公園では、音漏れを聴こうとして人が集まり、密が発生するのを防

ぐため、客席に向けたスピーカーは設置せず、音量は半分程に下げるなどの工夫を行った。いきものがかり、Little Glee Monster、Mr.Childrenの桜井和寿さんなどが出演し、2日間で計160曲を超す楽曲が配信された。出演者は、2年ぶりの開催の喜びを表現した。

## 編集後記

今回の取材で新たな音楽の魅力を知ることができた。亀田さんは取材の中で「心と心の『メインドメインスタンス』をなくしたい」と話した。感染対策のため、人との距離を取るものが重要となっている。今、心までも距離をとってしまっているのではないだろうか。音楽はそんな「メインドメインスタンス」をなくす手助けになると思う。こんな時だからこそ音楽は人々にとつてなくてはならないものだ。(海老澤)